

技術概要書（様式）

別紙2

技術分類	安全 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> ICT <input type="checkbox"/> 品質 <input type="checkbox"/> (該当する分類に○を付けてください)
技術名称	津波・漂流物防護柵 『津波ガード』 / 『津波キーパー』
NETIS登録番号	担当部署 設計部開発課
社名等	担当者 中口 彰人
	電話番号 076-238-6111
技術の概要	<p>1．技術開発の背景及び契機</p> <p>東日本大震災後に行った、弊社の防風・防波柵の被害状況調査の結果、場所によっては、船舶等の漂流物を捕捉し、陸側への二次災害を食い止めていることが確認されました。これを受け、近い将来発生が予想されている南海トラフ等の大型地震による津波対策として、弊社の防波板を使用した『津波・漂流物防護柵』の開発がスタートしました。</p> <p>2．技術の内容</p> <p>津波・漂流物防護柵は、海岸沿いの道路や港湾施設に設置することで、津波来襲時には、防波堤からの越波に比べ早く少量ずつ海水が流入する為、早めに危険を察知できる。さらに、引き波の滞流防止効果も期待できる。</p> <p>透過性の無い防波堤に比べて岸沖方向の視野が格段に広くなり、景観面でもメリットが大きい。また、平時には越波や波しぶきによる交通障害や浸水を防ぐ役割を担う。</p> <p>『津波ガード』は(株)日本パーツセンター、『津波キーパー』は神鋼建材工業(株)の製品名です。</p> <p>3．技術の効果</p> <p>安心・安全な5つの特長</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波の減衰・・・津波を減衰させ、構造物への被害を抑える 避難時間の確保・・・津波による水位上昇時間を遅らせ、避難時の安全を確保 漂流物の捕捉・・・漂流物を捕捉し、居住地への流入及び海への流出を防止 景観の確保・・・透視性の高い防波板の採用で景観を損なわない 平常時の効果・・・平時は防風柵、越波防止柵、侵入防止柵として利用可能 <p>4．技術の適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸地域 既設の護岸上部に設置することで、護岸の嵩上げ対策に比べコスト、施工期間を短縮できる。 ・港湾地域 コンテナヤード等に設置することで、津波を減衰し、コンテナ・木材等の居住地及び海への流出を防ぐ。また、侵入防止柵とも兼用出来る。 ・居住地域 駐車場等に設置することで、津波を減衰し、車両の流出を防ぐ。 <p>5．活用実績</p> <p>国の機関 0 件 (九州 0件、九州以外 0件) 自治体 0 件 (九州 0件、九州以外 0件) 民間 1 件 (九州 0件、九州以外 1件)</p>

災害に強く安全・安心な海岸・港湾地域へ
津波・漂流物防護柵

津波ガード^(※1)
津波キーパー^(※2)



(※1) 株式会社日本パーツセンターの製品名
(※2) 神鋼建材工業株式会社の製品名

津波対策防護柵事業展開中

青森県八戸漁港

